

熊本大学医学部附属病院 神経内科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

臨床神経全領域において診療を行うことができ、他科からのコンサルテーションに適切に対応できる知識と技術を持った神経内科専門医を育成すること、及び神経内科領域における臨床的及び基礎的研究に携わり、自ら研究計画を立案、実行、さらに大学院生を指導できる研究者を養成することを目的に、以下の研修を行なっている。それぞれ特徴をもつ複数の施設（熊本大学神経内科および関連9病院神経内科）をローテートすることにより、日本神経学会が定めた神経内科卒後研修到達目標を達成する。また、これらの研修により、神経疾患に対する研究を行うために必須な神経疾患の臨床的問題点について理解する。興味ある神経内科学分野の深い理解と問題点解決のため、大学院に進学し、学位取得を一つの目標に研究に従事する。国内、海外留学も可能である。

2. 研修目標

【一般目標】

多岐にわたる神経疾患を指導医とともに担当し、神経内科専門医として必要な知識と技術を習得する。神経内科専門医として必須の日本内科学会認定内科医を4年次に取得し、日本神経学会神経内科専門医を7年次に受験し資格取得する。

大学院進学者は、指導教員とともに創造的な研究活動に従事し、生命現象の真理を探究することで医学の進展に貢献し、研究成果を国際誌に発表するとともに、医学博士の学位を取得する。

【行動目標】

日本神経学会が定めた以下の神経内科卒後研修到達目標を達成する。

1. 臨床神経 1) 神経学的診察・局所診断・病因診断・検査治療プラン・脳死、2) 鑑別診断、3) 神経疾患の確定診断、4) 神経救急、5) 関連領域の理解、6) コンサルテーション
2. 治療 1) 基本的治療法A（一般的内科治療）、2) 基本的治療法B（神経内的治療）、3) 専門的治療法（専門的救急医療）、4) 神経疾患治療薬・治療法
3. 臨床神経生理 1) 筋電図（針筋電図、末梢神経伝導検査、誘発筋電図、表面筋電図）、2) 脳波、3) 誘発電位、4) 磁気刺激による神経生理学的検査、5) 眼振図
4. 神経放射線 1) 画像診断学総論（原理と手技）、2) 画像診断学各論（読影）、3) 放射線治療
5. 検査室検査 1) 髄液検査、2) 神経免疫、3) 自律神経機能検査
6. 神経遺伝学
7. 神経病理 1) 脳・脊髄、2) 病因からの神経病理学的所見、3) 組織学的所見、4) 筋・末梢神経生検
8. 関連臨床各科 1) 脳神経外科、2) 小児神経、3) 精神科、4) リハビリテーション（選択）
9. 医療福祉

3. 研修スケジュール

3年目～10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設	大学病院			留学		
B	大学病院	関連施設		大学病院		関連施設		
C	大学病院	大学院				関連施設		
D	大学院				関連施設		大学病院	

4. 評価

日本内科学会認定内科医試験を受験し資格取得することで、内科全般の医学的知識と臨床能力取得を評価する。日本神経学会神経内科専門医を7年次に受験し資格取得することで、神経内科専門医としての臨床能力を評価する。大学院にて医学博士の学位を取得することで、神経内科領域の研究者としての能力を評価する。

5. 募集人員 毎年度3名程度。上限なし。

6. 実施責任者 平野 照之 熊本大学大学院生命科学研究部神経内科学分野講師

7. 指導責任者 前田 寧 講師, 山下 太郎 診療講師, 山下 賢 助教, 平原 智雄 助教, 本田 省二 助教

8. 関連施設、学会認定状況

熊本大学医学部附属病院 神経内科 (日本神経学会認定教育施設, 日本脳卒中学会認定研修教育病院)

国立病院機構熊本再春荘病院 神経内科 (日本神経学会認定教育施設)

熊本市立熊本市民病院 神経内科 (日本神経学会認定教育関連施設, 日本脳卒中学会認定研修教育病院)

済生会熊本病院 脳卒中センター・神経内科 (日本神経学会認定教育施設, 日本脳卒中学会認定研修教育病院)

国立病院機構熊本医療センター 神経内科 (日本神経学会認定教育関連施設, 日本脳卒中学会認定研修教育病院)

熊本赤十字病院 神経内科 (日本神経学会認定教育施設, 日本脳卒中学会認定研修教育病院)

熊本機能病院 神経内科 (日本神経学会認定教育施設)

国立病院機構熊本南病院 神経内科 (日本神経学会認定教育関連施設)

熊本労災病院 神経内科 (日本神経学会認定教育関連施設, 日本脳卒中学会認定研修教育病院)

大牟田天領病院 神経内科 (日本神経学会認定教育関連施設)

9. その他

一般内科外来患者の主訴のうち約30%は神経内科疾患に関するものともなわれています。また、神経内科学的知識は、老年医学や家庭医学にとっても必須であり、今後の日本の医療における神経内科専門医の果たす役割は重要視されています。熊本大学病院神経内科では、脳卒中、変性疾患、リハビリ、研究活動などの選択肢を設けることで、専門修練医の多様な希望に沿った研修プログラムを用意しています。女性医師に対しても、育児休暇や、その後の再教育制度を設け、生活スタイルにあった勤務形態を提案しています。

神経内科専門医修練では卒業7年目に専門医の資格を取得出来ますが、神経内科学の分野は奥深く、日常診療を続けることで、生涯にわたり症例から学ぶことができ、興味の尽きることのない分野です。神経内科専門医となることで、患者様へ高度な専門的医療サービスを提供できるだけでなく、医師自身も、生涯にわたる医療への興味と情熱を維持出来ます。

10. 連絡先

860-8556 熊本市本庄1-1-1 熊本大学大学院生命科学研究部 神経内科学分野 診療講師 山下太郎

Tel : 096-373-5893, Fax : 096-373-5895, E-mail : taro.yamashita@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp

ホームページ : <http://www.kumamoto-neuro.jp/>